



令和6年7月22日(月) No.5

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより



題字：校長、文責：教頭

もう直ぐ夏休み。今回は、7月の校長講話の様子をお伝えいたします。7月は繊維学部大室農場からの中継でした。ここにはどんなお宝があり、どんな研究が行われているのでしょうか。

信大お宝めぐり 繊維学部大室農場編（7月1日 校長講話）

1 大室農場のご紹介

（校長先生）みなさん、おはようございます。今日はどこへ来ているかといいますと、ちょっと周りの様子を写してみますね。はいこちらにきています（右の写真）。たくさん羊さんがいるところです。場所を地図で確認してみたいと思います。信州大学繊維学部大室農場というところに来ています。信州大学は農場も持っているんです。去年今の3年1組の皆さんはここに見学に来たことと思います。今日もスペシャル講師の先生方をお呼びしていますのでご紹介したいと思います。信州大学繊維学部大室農場の佐藤俊一先生です。よろしくお願いします。



（佐藤先生）信州大学繊維学部では、糸とか毛とかという勉強を大学生がしていて、ここは、そのための生き物を飼っている施設になります。羊さんなんですけれど、サフォークといって、もとはイギリスで生まれた羊です。人が毛を刈るために飼育をしています。これからエサやりの実演をします。職員の方にやっていただきます。エサは、とうもろこしやふすま粉など、人間が作ったエサを混ぜています。栄養がたくさんなので、みんな大好きです。

先ほどの羊は毛刈りといって毛を刈ってあるんですけれど、本当はもっとモコモコしています。冬はモコモコしていますけれど、夏は羊さんは、暑さに弱いので、一年に一回毛刈りをします。この毛刈りを大学生にしてもらっています。校長先生、触ってみてください。

（校長先生）なんかとってもふさふさして気持ちいいですね。そして少し油っぽいですね。

（佐藤先生）そうです。油がついています。水を弾くために、羊さんが自分で油を出しています。冬のエサなんですけれど、これが牧草です。牧草をラップで巻いています。ビニルをぐるぐる巻きにします。夏はエサがたくさんあって食べているんですけれど、冬は無いのでこうやって保存します。全部で250個くらいあります。

2 クヌギの木にいたのは…

（佐藤先生）今度は虫さんです。「お蚕（かいこ）さん」って聞いたことがありますか？お蚕さんの仲間でもともと野生にいたお蚕さんを「野蚕（やさん）」と呼んでいます。野生の蚕なので「野蚕」です。その一つに、ヤママユガという種類がいて、それを飼育しています。クヌギという木を仕立てて、ヤママユ、天蚕（てんさん）ともいいますが、天蚕の幼虫を飼っています。



（校長先生）幼虫さんはどこですか？みなさん分かりますか？ここですね（右写真）。葉っぱに似ています。これ幼虫さんですね。こっちにもいますね。これ大きいですね。この下にマユがありますね（次ページ写真）。

(佐藤先生) はい。幼虫さんが一生懸命にエサを食べて、糸を吐いてお家を作っています。サナギのお家を自分で作っているんですね。鳥さんから分かりづらいように緑色をしているんですね。

(校長先生) なるほど。食べられてしまわないようにですね。きれいな色ですね。



3 大室農場のお宝

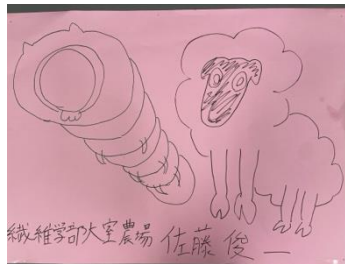
(佐藤先生) ヤママユといいましたけれどこれがマユです。緑色です。こちらが家蚕（かさん）のマユ、お蚕様です。白いマユです。これは人間が白くてきれいな形にしました。それを糸にしたものがこちらです（右写真）。やっぱり元々のマユの色がそのまま糸の色になっています。また別に、家蚕でも色がついているものもあります。黄色だったり、緑色に近いものだったりするものもあります。

こちらはウスタビガのマユです。黄緑色のマユです。こちらはマユに出口があります。おしっこをする穴もあります。ちゃんとよくできているんです。こんなお家を作るんです。

もう一つは柞蚕（サクサン）という茶色のマユです。こちらはご先祖が中国の出身のマユです。これも育てています。蛹（さなぎ）から成虫になって穴を開けて蛾（ガ）が出てきます。柞蚕の糸は茶色なんです。やはり、マユの色と同じですね。

(校長先生) 佐藤先生ありがとうございました。最後に繊維学部大室農場のお宝を教えてください。

(佐藤先生) 絵を描いたんですけれど、ヤマユの幼虫と羊ですね（右写真）。大室農場の生き物がお宝です。



(佐藤俊一先生)

4 児童のみなさんとのやりとり

2年2組Aさん「毛刈りって、どのようにするんですか」

佐藤先生「バリカンで髪の毛切ったことがある子もいるかもしれないんですけど、羊さんの体の毛の出ている部分にバリカンを当てて、体に沿って切って刈ります。」

4年1組Bさん「天然のお蚕は緑なのに、人工のお蚕はどうして白なんですか」

佐藤先生「難しい質問ですね。多分としか言えないんですけど、人間がもともと色がついていたお蚕さんを品種改良して、人間が暮らしやすいように世代を超えて少しずつ変えていったんですね。最初は緑色していた野生の蚕が、だんだん色が薄れていったんですね。」

(校長先生) これで終わりにしたいと思います。佐藤先生、今日は大変お世話になり、ありがとうございました。

(7月1日 校長講話より)

PTA 本部会役員のみなさまより

遅くなりましたが、今年度お世話になる PTA 本部会役員のみなさまです。よろしくお願いします。

子どもたちの教育環境の充実に最大限配慮し、会員の皆様と助け合い、許し合い、支え合うことで、「共に在る」ことの意味を実践してまいります！ 宜しく願い申し上げます。

(本部会一同)

